

空き校舎に障害者拠点

大竹で7月市が無償貸与



大竹市が障害者福祉施設として無償で貸し出す旧松ケ原小の校舎

松ケ原グループホーム構想も

大竹市は、2008年に閉校した旧松ケ原小（松ケ原町）の空き校舎を障害者福祉施設に転用し、無償で貸し出す。社会福祉法人美和福祉会（岩国市）が運営し、7月1日の開設を目指す。大竹市にない障害者のグループホーム設置を求める声を受け、市が運営先を公募した。（白石誠）



施設名は「おおたけ松美園（仮称）」。同福祉会は、鉄筋2階建ての校舎（延べ約1370平方メートル）と体育館（約610平方メートル）を借りる。校舎1階だけを使い、体育館は地元開放する。市が必須とした生活介護など6事業に加え、児童発達支援センター設置や自立訓練事業も独自メニューとして検討。開設時は、生活介護と就労継続支援B型の2事業でスタートする。グループホーム

は2021年ごろ開設する意向。施設に併設せず、同じ松ケ原町を主な設置候補地とする。グループホームの設置を長年要望していた大竹市内の心身障害者つなぐ育成会は歓迎。現在、約40家族が加入する。育成会の尾池菜緒美副会長（53）は「待ちに待った整備」と喜ぶ。

美和福祉会は岩国市美和町で障害者支援施設や特別養護老人ホームなどを運営している。亀井新五理事長（71）は「住み慣れた大竹で、一人一人に応じた一貫した支援体制を築きたい」と話す。市が旧校舎を無償貸与するのは初めて。市福祉課は「町の活性化にもつなげてほしい」と期待する。

ひと 交差点



「豊平地域全体で子どもを支える取り組みが評価されてうれしい」と話すのは、ともに豊平っ子を育てる会（北広島町）の金田道紀会長（68）。住

子どもの体験学習 支援

望を受け、特産ソバを使ったそば打ちや農業体験、オアシンショウウオの学習などでメンバーが講師を務めたり、手伝ったりする。「学校と地域の橋渡しをして体験学習を後押ししたい」

人口減少と高齢化が進む地域で世代を超えた交流を大切に。「体験や人との関わりが、子どもの成長や古里への愛着を深めることにつながれば」と期待を込める。（山田太一）

（8日の潮）

広島港	満潮 11時55分	干潮 11時52分
呉港	満潮 11時34分	干潮 11時59分
尾道港	満潮 11時57分	干潮 11時54分
福山港	満潮 11時37分	干潮 11時02分
	満潮 0時26分	干潮 13時09分
	満潮 6時39分	干潮 19時10分
	満潮 0時41分	干潮 13時24分
	満潮 7時00分	干潮 19時31分

投資詐欺疑い再逮捕
 県警生活環境課と広島中央署の合同捜査本部は6日、住所不定、無職福井剛容疑者（37）を金融商品取引法違反（無登録営業）の疑いで処分保留で詐欺の疑いで再逮捕した。再逮捕容疑は、2015年9月から17年3月までの間、個人投資家を名乗って広島市内の会社員女性（37）と医師男性（36）の2人に金を預けたら2年に1040%の配当金を出し、元金の保証もするなどと虚言を言い、計600万円をだまし取った疑い。同署によると、2人はポッドゲームの愛好家が集まる広島市内のイベントで知り合った。福井容疑者は「金は預かったもので、だまし取ろうと疑いで再逮捕した」と否認しているという。

市長往来 ▲6日
 広島 午前11時、永年勤続後に辞任した町内会長たちに対する感謝状贈呈式。午後1時30分、海田町で神楽まち起こし協議会。

大竹 午後2時、海田町で広島広域都市圏協議会と食と酒まち起こし協議会。

廿日市 午後1時30分、海田町で神楽まち起こし協議会。2時、同町で広島広域都市圏協議会と食と酒まち起こし協議会。

議会。2時、同町で広島広域都市圏協議会と食と酒まち起こし協議会。6時10分、南区で市域地区社協会長・地域福祉推進委員会合同研修会懇親会。7時30分、中区でサッカースタジアム建設の4者意見交換。